

2009年 1 月18日 実施

平成20年度（第40回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第1級 筆記試験問題

…………… 注 意 事 項 ……………

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は6ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 個々のネットワーク機器を識別するために、製造時に割り振られた各機器固有のアドレス。
2. 異なるネットワークのコンピュータ間で、特定のデータを、通信許可・不許可などの設定を行うことで、セキュリティ制御を行う機能。有害なWeb情報へのアクセスを自動的に遮断するために用いられる。
3. ハードディスク装置やプリンタ、イメージスキャナなど、コンピュータに接続されている周辺機器の総称。
4. ユーザが独自のタグを定義することができ、文書中のデータに構造や意味を与える言語。
5. コンピュータシステムに関する評価指標で、「信頼性」、「可用性」、「保守性」、「保全性」、「機密性」の5項目の頭文字で表現したもの。

解答群

ア. XML	イ. RAID	ウ. RASIS
エ. HTTPS	オ. デバイス	カ. デバイスドライバ
キ. サブネットマスク	ク. パケット	ケ. フィルタリング
コ. MACアドレス	サ. ホストアドレス	シ. ネットワークアドレス

【2】 次の文の（ 1 ）から（ 5 ）に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

ウォーターフォールモデルによるシステムの開発は、次のような工程で進める。まず、ユーザ側の要求を実現するための機能を設計する（ 1 ）を行ったあと、ユーザが使いやすい画面や帳票などの設計を行う。これらの工程時に、データの流れを把握しやすく図式化した（ 2 ）を作成して整理する。また、開発の初期段階に、ユーザ側の要求を確実に反映させるため、ユーザ側の情報化を推進し、指導する（ 3 ）が深く関わるのが望ましい。

次に、設計した機能をプログラムにするため、必要とされる処理手順やデータ構造を設計する内部設計を行う。この設計に基づき、各プログラムの内部構造を設計する（ 4 ）を行い、プログラミングを行ったのち、設計どおりに正しく動作することをテストし、確認後、運用することになる。

なお、運用中は、システムに見つかった問題点を修正する作業や、システムを効率的に稼働させるための業務である（ 5 ）などを行いながら、システムの信頼性を向上させることが必要である。

解答群

ア. EUC	イ. SAD	ウ. CGI
エ. DFD	オ. パレート図	カ. ABC分析
キ. 結合テスト	ク. PERT	ケ. 保守・管理
コ. プログラム設計	サ. 基本設計	シ. 外部設計

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 「批判禁止」、「自由奔放」、「質より量」、「結合便乗（他人の意見に便乗）」という4つのルールにより行われる発想法。実現の可能性などにはしばられず、自由な意見を集めることにより、新しいアイデアの出現を期待する。

ア. ブレーンストーミング イ. ヒストグラム ウ. デシジョンテーブル

2. 第三者によってデータが改ざんされていないことや、発信者が本人であることを認証する技術。

ア. MIME イ. ピアツーピア ウ. デジタル署名

3. データベースにおいて、あるデータを処理しているとき、他からのアクセスを制限することによって、データの整合性を保持しようとするしくみ。

ア. 排他制御 イ. デッドロック ウ. エンティティ

4. プログラムの内部構造に着目し、プログラムが設計どおりに動作しているかを確認するテスト。

ア. スループット イ. ブラックボックステスト ウ. ホワイトボックステスト

5. 装置Aと装置Bが、次の図のように配置されているシステムにおいて、システム全体の稼働率が0.81のとき、装置Bの稼働率はいくらか。ただし、装置Aの稼働率は0.9とする。



ア. 0.8 イ. 0.9 ウ. 0.99

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 1か月複利で、年利率1% 毎月¥30,000を4年間積み立てて¥2,000,000にする場合、現在価値（最初に預け入れる金額）を求める次の式の空欄にあてはまる式を答えなさい。

=PV(, 4*12, -30000, 2000000)

問2. ある商店では、商品名を変更するために次の表を用いている。A列の「現商品名」にあったかが含まれる場合はほかほか置き換え、含まれない場合はそのままB列に表示する。B4に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B
1		
2	商品名置換表	
3	現商品名	新商品名
4	ふっくらカキフライ	ふっくらカキフライ
5	あったかおでん	ほかほかおでん
6	やわらか唐揚げ	やわらか唐揚げ
7	ふっくらお好み焼き	ふっくらお好み焼き
8	あったかコロッケ	ほかほかコロッケ

= (A4, "あったか", "ほかほか")

ア. SEARCH

イ. SUBSTITUTE

ウ. ISERROR

問3. 次の表は、ある高校野球大会の入場料金（一般600円、高校生100円）の早見表である。C5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をG8までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	入場料金早見表						
3		一般（人）					
4		0	1	2	3	4	
5		0	¥0	¥600	¥1,200	¥1,800	¥2,400
6	高校生	1	¥100	¥700	¥1,300	¥1,900	¥2,500
7	（人）	2	¥200	¥800	¥1,400	¥2,000	¥2,600
8		3	¥300	¥900	¥1,500	¥2,100	¥2,700

ア. =C\$4*600+\$B5*100

イ. =\$C4*600+B\$5*100

ウ. =\$C4*600+\$B5*100

問4. ある旅行代理店では、ホテルの施設・料理・サービスの評価から総合評価を判定するために次の表を用いている。E4には、総合評価を判定する次の式が設定されている。この式をE9までコピーしたとき、E9に表示される文字として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E
1					
2	総合評価判定表				
3	ホテル名	施設	料理	サービス	総合評価
4	オリエンタルホテル	4	4	5	A
5	グランドホテル	4	3	4	B
6	シーサイドホテル	5	3	4	A
7	パークホテル	5	4	5	S
8	パシフィックホテル	2	2	2	B
9	ロイヤルホテル	2	5	5	※

=IF(AND(COUNTIF(B4:D4,5)>=2, MIN(B4:D4)>=4), "S", IF(AND(SUM(B4:D4)>=12, MIN(B4:D4)>=3), "A", "B"))

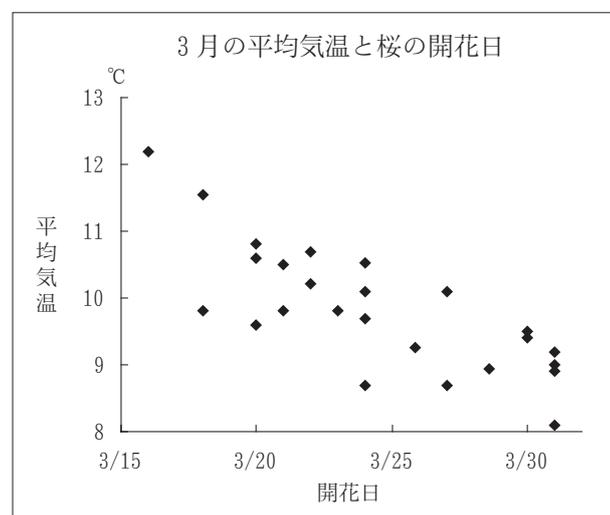
(注) ※印は、値の表記を省略している。

ア. S

イ. A

ウ. B

問5. 次のグラフは、ある高校で観測した過去の3月の平均気温と桜の開花日のデータをもとにして作成した散布図である。グラフから読み取れることについて最も適切なものを選び、記号で答えなさい。



ア. 平均気温は、減少傾向にある。

イ. クリティカルパスは、15日である。

ウ. 平均気温と開花日は、負の相関関係がある。

- 【5】 次の表は、ある高校の部活動が大会に参加する際、日帰りで鉄道を利用する場合に、生徒会からの一人あたりの交通費補助額を計算するための表である。処理条件にしたがって、各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、問5については数値を答えなさい。

シート名「補助額計算表」

	A	B	C	D	E				
1	交通費補助額計算表 2009 年用 入力欄 確認欄 出力欄								
2						着駅番号		7	
3						出発日		506	
4						片道・往復		2	
5						人数		15 人	
6						運賃補助額		3,670 円/人	
7						特急料金割増額		200 円/人	
8						補助額合計		3,870 円/人	
9						沼津		往復	
10						OK		往復	
11						3,670		円/人	
12						200		円/人	
13						3,870		円/人	

シート名「駅表」

	A	B	C			
1	駅表 駅番号 駅名 運賃					
2				1	町田	800
3				2	本厚木	1,030
4				3	松田	1,420
5				4	小山	2,470
6				5	御殿場	2,780
7				6	裾野	3,400
8				7	沼津	3,670
9						
10						

シート名「割増期間表」

	A	B	C	D	E	F					
1	特急料金割増期間表 開始月日 101 321 428 721 1225 終了月日 105 405 506 831 1231										
2											
3											
4											

処理条件

- シート名「補助額計算表」のB6～B9に適切なデータを順に入力すると、一人あたりの交通費補助額を求めることができる。
- シート名「駅表」は、この高校の最寄り駅である新宿駅から各駅までの運賃（特急料金を含む）を表している。
- シート名「割増期間表」は、3行目の「開始月日」から4行目の「終了月日」までが特急料金の割増期間を表している。たとえば、B3の101とB4の105は、1月1日～1月5日が特急料金割増期間であることを示している。なお、割増期間中は、200円が割増される。
- シート名「補助額計算表」は、次のように作成されている。
 - B6の「着駅番号」の入力欄は、シート名「駅表」から目的地の「駅番号」を入力する。
 - D6は、B6の「着駅番号」をもとに、シート名「駅表」を参照した「駅名」を表示する。ただし、B6が駅番号にない場合は、入力エラーを表示する。なお、B6が空欄の場合は、何も表示しない。
 - B7の「出発日」は、鉄道を利用する月日を入力する。たとえば、3月2日であれば302、12月5日であれば1205と入力する。
 - D7は、B7の「出発日」が暦にある場合はOK、それ以外の場合は入力エラーを表示する。なお、B7が空欄の場合は、何も表示しない。
 - B8の「片道・往復」は、片道のみで計算する場合は1、往復で計算する場合は2を入力する。
 - D8は、B8が1の場合は片道、2の場合は往復、それ以外の場合は入力エラーを表示する。
 - B9の「人数」は、鉄道を利用する人数を入力する。
 - D11の「運賃補助額」は、B6の「着駅番号」をもとに、シート名「駅表」を参照した運賃をもとに計算して表示する。ただし、鉄道会社の割引があるため、人数が15人以上の場合は5割とし、人数が15人未満で往復の場合は8割とする。また、往復の場合は、運賃を2倍する。なお、B9が空欄の場合、またはD8が入力エラーの場合は、何も表示しない。
 - D12の「特急料金割増額」は、B7の「出発日」がシート名「割増期間表」の特急料金割増期間に該当する場合は200を表示し、それ以外の場合は0を表示する。ただし、B7が空欄の場合、またはD7が入力エラーの場合は、何も表示しない。
 - D13の「補助額合計」は、「運賃補助額」と「特急料金割増額」の合計を求める。

問1. シート名「補助額計算表」のD6に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(B6="", "", IF([空欄] , "入力エラー", VLOOKUP(B6, 駅表!A4:B10, 2, FALSE)))

- ア. AND(B6>=1, B6<=7)
- イ. OR(B6>=1, B6<=7)
- ウ. OR(B6<1, B6>7)

問2. シート名「補助額計算表」のD7に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(B7="", "", IF(INT(B7/100)= [空欄] , "OK", "入力エラー"))

- ア. DAY(DATE(D3, INT(B7/100), MOD(B7, 100)))
- イ. YEAR(DATE(D3, INT(B7/100), MOD(B7, 100)))
- ウ. MONTH(DATE(D3, INT(B7/100), MOD(B7, 100)))

問3. シート名「補助額計算表」のD11に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(OR(B9="", D8="入力エラー"), "", INDEX(駅表!A4:C10, B6, 3)* [空欄])

- ア. IF(B9>=15, 0.5, IF(B8=1, 1, 0.8))*B8
- イ. IF(B8=1, 1, IF(B9>=15, 0.5, 0.8))*B8
- ウ. IF(B8=1, 1, IF(B9>=15, 0.5, 0.2))*B8

問4. シート名「補助額計算表」のD12に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(OR(B7="", D7="入力エラー"), "", IF([空欄] , 200, 0))

- ア. B7<=VLOOKUP(B7, 割増期間表!B3:F4, 2, TRUE)
- イ. B7<=HLOOKUP(B7, 割増期間表!B3:F4, 2, TRUE)
- ウ. B7>=HLOOKUP(B7, 割増期間表!B3:F4, 2, TRUE)

問5. シート名「補助額計算表」に、次のようにデータを入力したとき、D13の「補助額合計」に表示される適切な数値を計算して答えなさい。

	A	B	C	D	E
1					
2	交通費補助額計算表				
3				2009 年用	
4					
5		入力欄		確認欄	
6	着駅番号	1		町田	
7	出発日	5/10		OK	
8	片道・往復	2		往復	
9	人数	10	人		
10				出力欄	
11		運賃補助額		※	円/人
12		特急料金割増額		※	円/人
13		補助額合計		※	円/人

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【6】 あるイベント用品レンタルショップでは、顧客に対する商品のレンタル料金の請求を次のようなりレーショナル型データベースを利用して管理している。次の各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

作業の流れ

- ① 顧客からの電話予約により、「貸出顧客表」、「貸出商品表」に注文内容を入力する。
- ② 商品は店頭で貸し出し、料金は貸し出し時に前払いで受け取る。
- ③ 料金は、1泊2日を基本日数として、「単価 × 数量」で求め、「請求書」を発行する。ただし、2泊3日以上の場合は、3日目以降の日数を追加日数として、次の式で求め、料金に加える。

「追加単価 × 数量 × 追加日数」

例：イベントテント 2m×4m 4張を、3泊4日レンタルした場合

$$14,700円 \times 4張 + 2,940円 \times 4張 \times 2日 = 82,320円$$

(単価) (数量) (追加単価) (数量) (追加日数) (料金)

- ④ 商品が返却されると「貸出顧客表」に、返却日を入力する。

請 求 書							
					2009年1月18日		
					No. 309		
陽々サークル 様							
下記の通りご請求申し上げます。			レンタルショップ 山崎				
請求金額 ￥86,730-							
貸出日：2009年1月18日							
返却予定日：2009年1月21日							
No.	商品コード	商品名	数量	単価	追加単価	追加日数	料金
1	10203	イベントテント 2m×4m	4	14,700	2,940	2	82,320
2	10401	テントウェイト	6	525	105	2	4,410
合 計							86,730

商品表

商品コード	商品名	単価	追加単価
10101	集会用テント 2m×3m	7350	1470
10102	集会用テント 3m×4m	10500	2100
}	}	}	}
10203	イベントテント 2m×4m	14700	2940
}	}	}	}

顧客表

顧客コード	顧客名	郵便番号	住所	電話番号
}	}	}	}	}
RC48601	前商組合	160-XXXX	東京都新宿区大京町 XX	03-3357-XXXX
RC48602	赤西連合	115-XXXX	東京都北区西が丘 X-X-X	03-3900-XXXX
RC48603	陽々サークル	135-XXXX	東京都江東区越中島 X-X-X	03-3641-XXXX
RC48604	桑友同好会	193-XXXX	東京都八王子市千人町 X-X-X	042-663-XXXX
}	}	}	}	}

貸出顧客表

貸出番号	顧客コード	貸出日	返却予定日	追加日数	返却日
}	}	}	}	}	}
304	RC48601	20090116	20090117	0	0
305	RC24680	20090116	20090118	1	20090118
306	RC11911	20090117	20090119	1	0
307	RC55532	20090117	20090121	3	0
308	RC48608	20090117	20090118	0	20090118
309	RC48603	20090118	20090121	2	0
}	}	}	}	}	}

貸出商品表

貸出番号	商品コード	数量
}	}	}
308	10504	16
308	10602	32
308	80303	2
308	10203	5
309	10203	4
309	10401	6
}	}	}

(注) 貸出顧客表の「貸出日」、「返却予定日」、「返却日」は、8けたの数値を用いる。

例：20090116 は2009年1月16日を表す。

ただし、「返却日」の0は未返却を表す。

(平成21年1月18日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成20年度（第40回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記
 解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

【6】	問1	問2	問3	問4	問5

試験場校名	受験番号

得点合計

(平成21年 1月18日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成20年度（第40回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記 審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	コ	ケ	オ	ア	ウ	

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	サ	エ	イ	コ	ケ	

【3】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	ア	ウ	ア	ウ	イ	

【4】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	0.01/12	イ	ア	ウ	ウ	

※「1%/12」も可。

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ウ	ウ	ア	イ	1,280	

※「,」なしも可。

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ウ	イ	ウ	ア	ア	

試験場校名	受験番号

得点合計
100

2009年 1 月18日 実施

平成20年度（第40回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート 4 の A 1 のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、シート 4 を 1 ページで印刷してください。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

あるビジネスホテルでは、過去の宿泊データから、毎月の売上目標を設定することになり、2009年3月の売上目標計画書を作成することになった。毎月の売上目標は、過去2年間における同月の売上高の平均を、種別ごとに5%増加させて求める。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。

資料1 種別・客室表

種別コード	SG	TW
種別	シングル	ツイン
客室数	120	40
単価	5,400	7,800

資料2 宿泊日計データ

年	月	日	日計コード
2007	1	1	SG120
2007	1	1	TW040
2007	1	2	SG119
2007	1	2	TW038
{	{	{	{
2008	12	31	SG120
2008	12	31	TW040

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
設定する書式：罫線，列幅，数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。
「種別表」の※印の部分は、資料1のデータを入力する。なお、種別コードは半角英字である。
- シート2は、次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - E列の「種別」の※※印の部分は、D列の「日計コード」の左端から2文字をもとに、シート1の「種別表」を参照して表示する。
 - F列の「販売客室数」の※※印の部分は、D列の「日計コード」の右端から3文字を抽出し、数値データに変換する。
- シート3は集計作業用シートで、シート4の作成に必要な2007年3月と2008年3月のデータを集計するために、自由に利用する。
- シート4は、次のように作成する。
 - 「1. 客室表」は、次のように作成する。
 - ※印の部分は、資料1のデータを入力する。
 - E列の「合計」は、C～D列の合計を求める。
 - 「2. 販売客室数集計表」は、次のように作成する。
 - C11～E12は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
 - 13行目の「合計」は、11～12行目の合計を求める。
 - 「3. 稼働率表」は、次のように作成する。
 - C17～E18の稼働率は、「販売客室数 ÷ (客室数 × その月の日数)」の式で求める。ただし、%表示で小数第1位まで表示する。
 - 19行目の「平均」は、17～18行目の平均を求める。ただし、%表示で小数第1位まで表示する。
 - 「4. 売上高表」は、次のように作成する。
 - C23～D24の売上高は、「単価 × 販売客室数」の式で求める。
 - 25行目の「平均」は、23～24行目の平均を求める。
 - E列の「合計」は、C～D列の合計を求める。
 - 「5. 2009年3月の売上目標」は、次のように作成する。
 - C29～D29の「目標販売客室数」は、初期値として0を入力しておく。
 - C30～D30の「目標売上高」は、「単価 × 目標販売客室数」の式を入力しておく。
 - C29の「目標販売客室数」は、「目標販売客室数」が整数、C30の「目標売上高」がC25の「平均」を5%増加させた値以上で最小になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。
設定例 目的セル：C30 目標値：最小値 変化させるセル：C29
制約条件：C29は整数、C30はC25の1.05倍以上
 - D29の「目標販売客室数」は、C29と同様に求める。
 - E列の「合計」は、C～D列の合計を求める。
- グラフは、「2. 販売客室数集計表」と「5. 2009年3月の売上目標」から作成する。
 - グラフの※※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
 - グラフの数値軸目盛は、最小値(0)、最大値(3,000)および間隔(1,000)を設定する。
- シート4を報告書として、1ページにおさまるように調整する。

	A	B	C
1			
2	種別表		
3	種別コード	SG	TW
4	種別	※	※

(シート1)

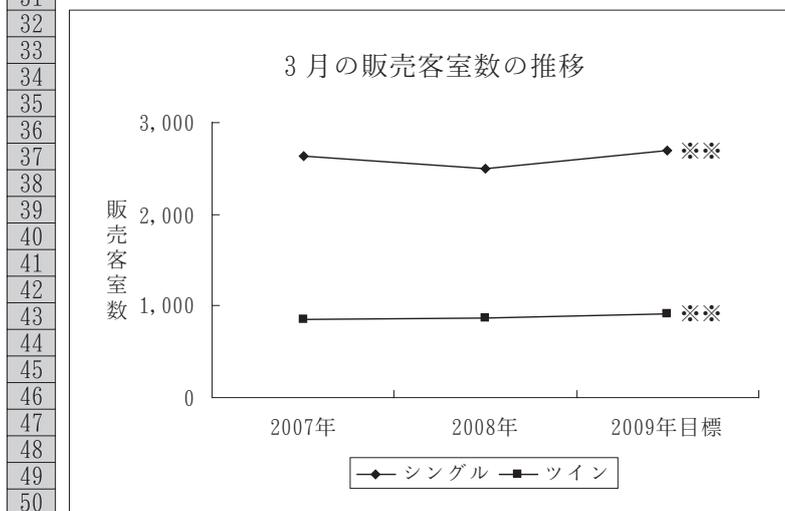
	A	B	C	D	E	F
1						
2	売上日計表					
3	年	月	日	日計コード	種別	販売客室数
4	2007	1	1	SG120	シングル	120
5	2007	1	1	TW040	※※	※※
6	2007	1	2	SG119	※※	※※
7	2007	1	2	TW038	※※	※※
8	Σ	Σ	Σ	Σ	Σ	Σ
1462	2008	12	30	SG119	※※	※※
1463	2008	12	30	TW040	※※	※※
1464	2008	12	31	SG120	※※	※※
1465	2008	12	31	TW040	※※	※※

(シート2)

	A	B	C	D	E
1					
2					
3	合計 / 販売客室数 種別				
4	年	月	シングル	ツイン	総計
5	2007	1	2932	※※	※※
6		2	※※	※※	※※
7		3	※※	※※	※※
8		4	※※	※※	※※
9		5	※※	※※	※※
10		6	※※	657	※※
11		7	※※	※※	※※
12		8	※※	※※	※※
13		9	※※	※※	※※
14		10	※※	※※	※※
15		11	※※	※※	※※
16		12	※※	※※	3583
17	2007 集計		※※	※※	43406
18	2008	1	3055	※※	※※
19		2	※※	※※	※※
20		3	※※	※※	※※
21		4	※※	※※	※※
22		5	※※	※※	※※
23		6	※※	669	※※
24		7	※※	※※	※※
25		8	※※	※※	※※
26		9	※※	※※	※※
27		10	※※	※※	※※
28		11	※※	※※	※※
29		12	※※	※※	3691
30	2008 集計		※※	※※	43415
31	総計		※※	※※	86821

(シート3の利用例)

	A	B	C	D	E
1					
2	2009年3月の売上目標計画書				
3					
4	1. 客室表				
5		種別	シングル	ツイン	合計
6		客室数	※	※	※※
7		単価	※	※	
8					
9	2. 販売客室数集計表				
10		種別	シングル	ツイン	合計
11		2007年3月	2,627	※※	※※
12		2008年3月	※※	※※	※※
13		合計	※※	1,729	※※
14					
15	3. 稼働率表				
16		種別	シングル	ツイン	全体
17		2007年3月	70.6%	※※	※※
18		2008年3月	※※	※※	※※
19		平均	※※	69.7%	※※
20					
21	4. 売上高表				
22		種別	シングル	ツイン	合計
23		2007年3月	14,185,800	※※	※※
24		2008年3月	※※	※※	※※
25		平均	※※	6,743,100	※※
26					
27	5. 2009年3月の売上目標				
28		種別	シングル	ツイン	合計
29		目標販売客室数	※※	※※	※※
30		目標売上高	※※	※※	※※
31					



平成20年度（第40回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技 審査基準

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

2009年3月の売上目標計画書

1. 客室表

種別	シングル	ツイン	合計
客室数	120	40	160
単価	5,400	7,800	

2. 販売客室数集計表

種別	シングル	ツイン	合計
2007年3月	2,627	856	3,483
2008年3月	2,495	873	3,368
合計	5,122	1,729	6,851

3. 稼働率表

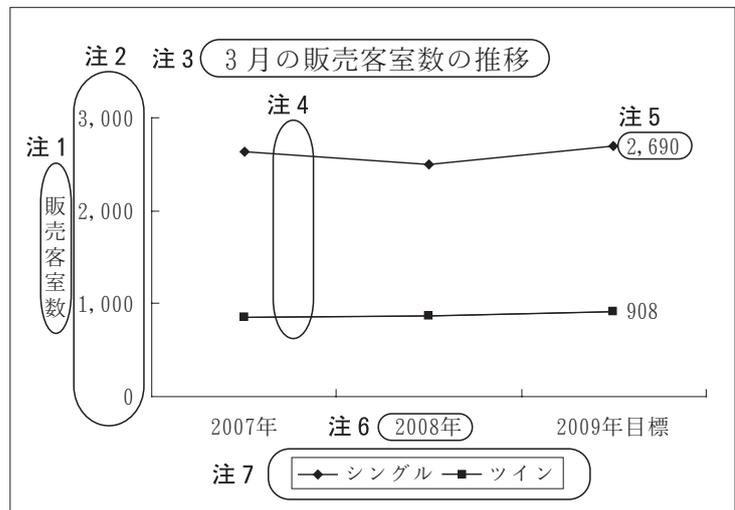
種別	シングル	ツイン	全体
2007年3月	70.6%	69.0%	70.2%
2008年3月	67.1%	70.4%	67.9%
平均	68.8%	69.7%	69.1%

4. 売上高表

種別	シングル	ツイン	合計
2007年3月	14,185,800	6,676,800	20,862,600
2008年3月	13,473,000	6,809,400	20,282,400
平均	13,829,400	6,743,100	20,572,500

5. 2009年3月の売上目標

種別	シングル	ツイン	合計
目標販売客室数	2,690	908	3,598
目標売上高	14,526,000	7,082,400	21,608,400



配点

- ①表の作成 () の箇所 5点×12箇所=60点
注 罫線は含まない。数値は、3けたごとにコンマをつけていること。
- ②罫線 1. 客室表 5点×1箇所=5点
- ③グラフの作成 () の箇所 5点×7箇所=35点
注1 数値軸ラベルは、方向、文字および位置（グラフの左側）が正しく設定されていること。
注2 数値軸目盛は、最小値（0）、最大値（3,000）および間隔（1,000）が正しく設定されていること。
注3 グラフタイトルは、文字および位置（グラフの上側）が正しく設定されていること。
注4 2本の折れ線グラフになっていること。
注5 データラベルの値（2,690）が正しく設定されていること。
注6 文字が正しく設定されていること（左右の位置は問わない）。
注7 凡例は、位置（グラフの下側）および文字が正しく設定されていること（左右の順序は問わない）。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。